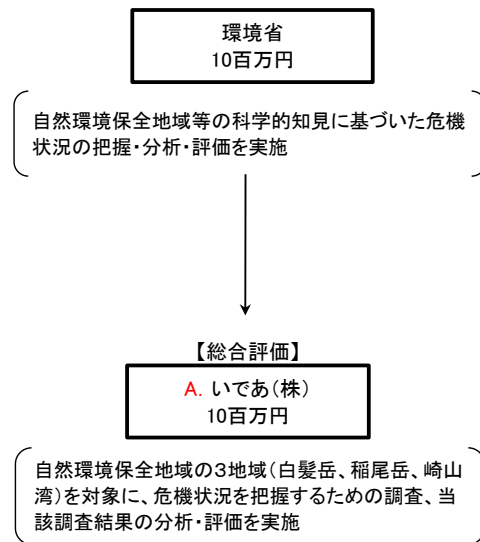


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	原生的な自然環境の危機対策事業		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度		担当課室	自然環境計画課		課長 塚本 瑞天		
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	自然環境保全法第30条の2及び第30条の3等		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国土の生態系ネットワークの核となる部分を形成し、我が国の生物多様性の保全上極めて重要な自然環境保全地域等について、シカの食害等による生態系の攪乱など、原生的な自然環境の危機へと繋がる重大な問題が発生していることから、科学的知見に基づいた危機状況の把握・分析・評価を行うことにより、当該地域の適切な保全管理の実施を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	原生自然環境保全地域及び自然環境保全地域について、専門家等の協力を得て現地調査や情報収集等を実施することにより、科学的な知見に基づき、危機状況の把握・分析・評価を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	10	13	10	
		繰越し等	-	-	0	0		
		計	-	-	10	13	10	
	執行額	-	-	10				
	執行率(%)	-	-	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	自然環境保全地域等の適切な保全管理の実施 (当該地域の適切な保全管理を図る事業のため、定量的な成果目標を示すことは困難)		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	自然環境保全地域等の危機状況の把握・分析・評価の実施		活動実績 (当初見込み)	箇所	-	-	3 (3)	- (2)
単位当たりコスト	3.3(百万円/1地域)		算出根拠	平成22年度予算額/危機状況の把握・分析・評価を行った地域数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	自然環境保全調査費	13	10	対策の実施に伴う人件費等の見直しによる経費の節減				
	計	13	10					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度から実施している自然環境保全地域等における危機状況の把握・分析・評価を踏まえ、平成23年度からシカによる食害や気候変動の及ぼす影響等への生物多様性の保全上必要な対策を検討・実施することとしており、各地域の調査結果や緊急性などの観点から効率的な事業執行ができるよう努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	調査・対策の効率的な実施により、予算を縮減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	対策の実施に伴う人件費等の見直しにより経費を節減し概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. いであ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	原生的な自然環境の危機対策事業費	10			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	いであ(株)	自然環境保全地域の危機状況の把握・分析・評価	10	4	79.5%